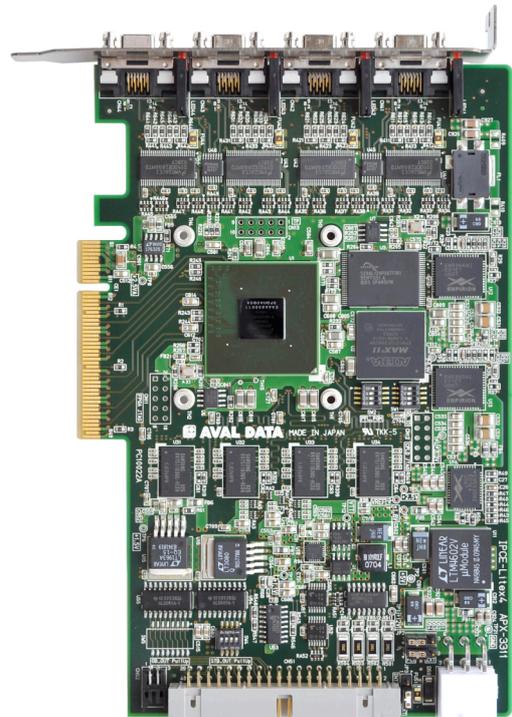


PoCL-Lite 規格のカメラ入力 I/F を 4ch を搭載した画像入力ボードを開発

株式会社アバールデータ(以下アバール、代表: 嶋村清、本社: 東京都町田市旭町 1-25-10、URL: <http://www.avaldata.co.jp>、E-Mail: sales@avaldata.co.jp) は、PoCL(Power Over Camera Link)-Lite インターフェースを 4ch(チャンネル)搭載した画像入力ボード APX-3311 を開発、2010 年 6 月 9 日より販売開始する。

PoCL-Lite は、CameraLink(カメラリンク)規格のコネクタを小型化したもの。従来の PCI パネルでは 1 ボードに 2ch までだったが、コネクタが小型化したことで無理なく 4ch 配置することが可能になった。今回開発されたアバールの「APX-3311」は、4ch のインターフェースを持つ PCI Express 規格(8 レーン)のボードで、各 ch は同期/非同期のどちらでも動作させることができる。画像バッファとして 256Mbyte のメモリ実装し各 ch ごとに 64MByte の FiFO メモリとして割り当てている。また、外部機器とのインターフェース用に各種 I/O や本ボードを複数枚使用し、多数カメラを使用する場合のためにボード間同期機能を持っている。

「APX-3311」は、パシフィコ横浜で 2010 年 6 月 9 日から開催される画像センシング展のアバール出展ブースにて発表される。



製品名 : 画像入力ボード
型式名称 : APX-3311
受注開始 : 2010 年 6 月 9 日
販売予定価格 : ¥99,800 (消費税別)

■製品に関する問い合わせ先
株式会社アバールデータ 営業部
電話 : 042-732-1030 FAX : 042-732-1032
電子メール : sales@avaldata.co.jp
ホームページ : <http://www.avaldata.co.jp>

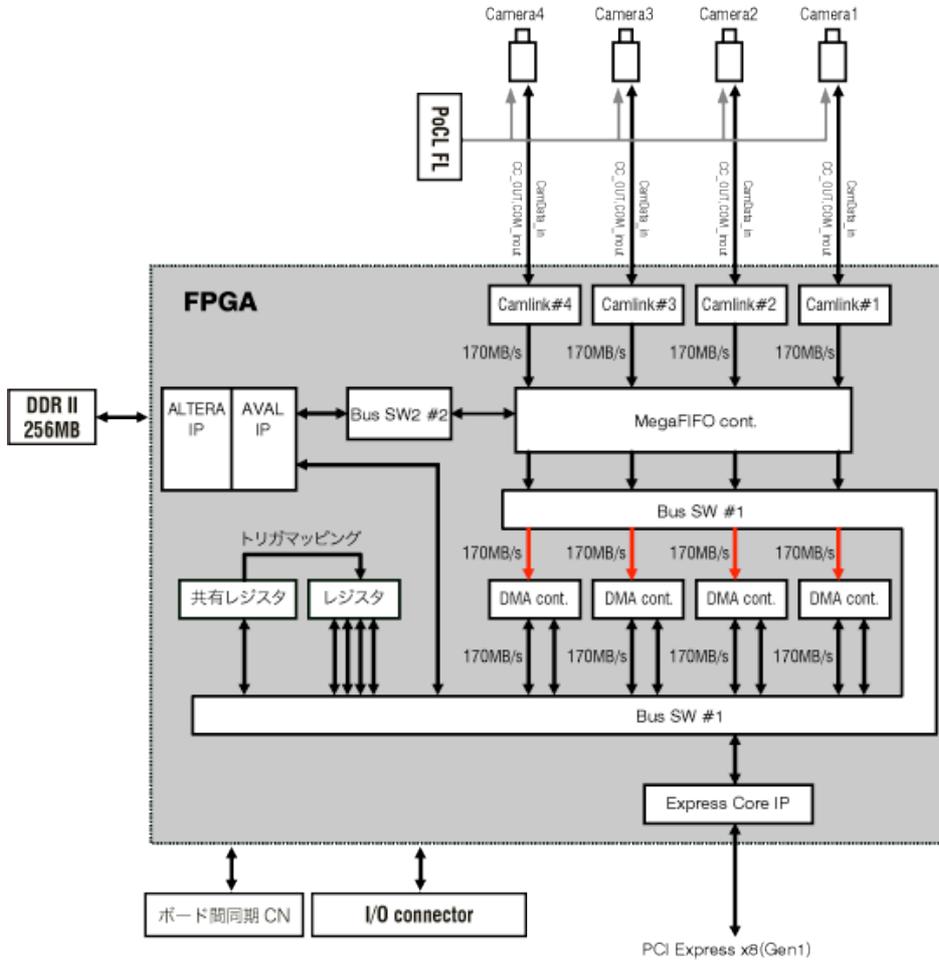
■ APX-3311 の特長

- PoCL-Lite 規格カメラ 4 台の独立したカメラインターフェースを搭載
- 各 ch 同期/非同期画像入力可能
 - 同期のとき、同一機種のカメラを同一のタイミングで取り込み可能
 - 非同期のとき、それぞれ別々のカメラをそれぞれのタイミングで取り込み可能
- ハードウェアベイヤー変換機能、ライン反転機能を搭載
- 画像バッファとして 256MByte のメモリを搭載
 - (各チャンネルごと 64MByte の FIFO 割り当て)
- ストロボタイミング用出力をカメラごとに装備
- 外部トリガー用入力 12 本を装備 (フォト×4、TTL×4、RS422×4)
- 複数ボードによる同時取り込みを可能とするためのボード間同期機能を装備
- システムバスは PCI Express ×8 レーン (Gen1)

■ APX-3311 主な仕様

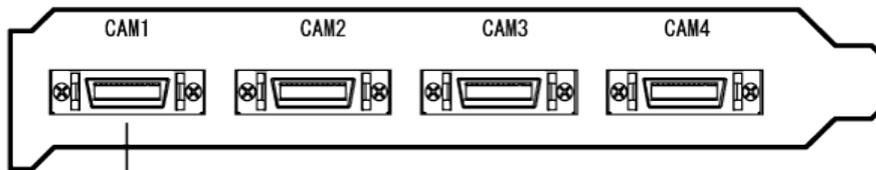
項目	仕様
画像入力	PoCL-Lite 規格カメラ 4ch 85MHz、10bit 同期、非同期取り込みが可能 以下の前処理回路を搭載予定 (水平 4000 画素まで) ・ライン反転、・ベイヤー変換
I/O	外部トリガ/汎用入力用途 フォト入力×4、TTL 入力×4、RS422 入力×4 ※外部トリガ：各 ch ごと 12 入力から選択可能 ※汎用入力：12 入力の OR 選択。割り込み要因として使用可能 出力 ストロボ用オープンコレクタ出力×4 汎用出力用オープンコレクタ出力×8 ボード間同期 ボード間同期 TTL 出力×1 ボード間同期 TTL 入力×1
メモリ	256MByte
割り込み	画像入力開始、DMA 終了、汎用入力
システム Bus	PCI Express 1.0 ×8 (Gen1)
対応 OS	Windows7、Windows XP
ソフトウェア (別売)	AZP-ACAP-02
外形寸法	167.65mm(W)×111.15(D)mm パネル幅 20mm (突起物を含まず)

■ APX-3311 ブロック図



■ APX-3311 パネル面

フロントパネル



カメラリンクコネクタ
SDR14pin